

しゃきょう

令和4年2月1日発行 第450号

発行 八丈町社会福祉協議会

八丈町三根2番地

TEL 04996-2-2609

FAX 04996-2-4655

心配ごと相談 TEL 2-5000

Eメール info@8jo-syakyo.or.jp

HP <http://8jo-syakyo.or.jp/>



社協では令和2年度～6年度に掛けて、第3次みつわ計画に基づき事業を行っていきます。



歳末たすけあい運動にご協力ありがとうございました

赤い羽根データベース「はねっと」

<http://hanett.akaihane.or.jp/>

赤い羽根データベース「はねっと」は、日本全国で行われている赤い羽根共同募金の募金額や、その配分先・配分金額等が検索できるサイトです。

右記の通り、八丈島で行っている歳末たすけあい募金の配分金は、八丈町社会福祉協議会に配分されていますが、社協の助成事業によって、さらに二次配分として各団体へも配分されています。

「はねっと」では、そうした二次助成の活動内容や配分金額、ありがとうメッセージ等が確認できます。

皆様からの善意が、どのように使われているのかを、是非「はねっと」で確認してみてください。

はねっと

検索

募金総額 542,568円

社会福祉協議会では、昨年12月1～31日までの1か月間、共同募金の一環として「歳末たすけあい・地域福祉活動募金」を実施しました。集まりました募金のご報告を致します。

歳末たすけあい運動では、商店や事業所等に募金缶の設置をお願いし、多くの方々から募金をいただきました。また、各種団体などには、募金袋をお願いして集めていただきました。2面に今年度の協力者の一覧を掲載しておりますので、ご覧ください。

この募金は、報告書と共に東京都共同募金会へ一度集められ、来年度の地域福祉事業費として八丈町社協に配分されます。

八丈町社協では、配分された募金は、敬老会・助成事業・給食サービス・訪問理髪等の地域福祉事業で使わせていただく予定です。

今年度も、コロナ禍の影響による厳しい社会情勢での「歳末たすけあい運動」となりましたが、地域の皆様のご理解・ご協力を賜り、多くの募金をいただきました。紙面を持ちまして厚く御礼申し上げます。

今後とも皆様のご協力をよろしくお願い致します。

歳末たすけあい募金ご協力者一覧

○以下の事業所等に募金缶の設置のご協力をいただきました。(敬称略、順不同)

三根地域

アサギク
あそこ寿司
あめのもり商店
アメノモリ電気
伊澤歯科医院
石田商店
岩淵クリニック
小沢電気
開善院
鍛冶菊
ココムーン
護神給油所
七島信用組合
島しょ農協三根店
ドコモショップ
八丈給油所
八丈興発
八丈島漁協本所
八丈島警察署
八丈島フィッシングCLUB
八丈島薬局
八丈書房
八丈ストア
八丈電設センター
八丈島協立歯科診療所
八丈マリンサービス
八丈民芸やました本店
はまゆう売店
繁
藤巻商店
船橋電気
フローラ八丈
ベベ
三根出張所
三根郵便局
民芸あき本店
森秀
山田屋
ヤマト運輸
山本秀正商店
ゆうこ&倉の坂
リゾートパークリゾート八丈
蓮華

大賀郷地域

愛光観光
浅沼組
浅沼周蔵商店
一休庵
一平
今関商会

エース釣具店
大賀郷歯科クリニック
大賀郷薬局
おおわき
菊池釣具店
キヨシ
銀八
くれよん
研の店
瑚庵
佐々木いとか店
スーパーあさぬま
大吉丸
大志堂
手塚商店
島しょ農協大賀郷店
島しょ農協本店
中村商店
南海タイムス
八丈エアポート逸品会
八丈交通
八丈交通モバイル
八丈島観光協会
八丈島漁協大賀郷支所
八丈島空港ターミナルビル
八丈島建設業協会
八丈島ジャージーカフェ
八丈島郵便局
八丈酒販いそざき
八丈商事
八丈ピーコック
八丈ビューホテル
八丈町歯科診療所
八丈町商工会
八丈民芸やました空港店
浜源
ビジターセンター
フリーダムレンタカー
プリベールヘア美容室
ポケット
民芸あき空港店
八島
リリー理容室
優美堂

檜立地域

伊勢崎富次朗商店
檜立出張所
檜立郵便局
黄八丈組合
阪上給油所
坂上歯科診療所
佐々木榎喜商店

千両
ふれあいの湯

中之郷地域

黄八丈めゆ工房
佐々木住設
中之郷出張所
中之郷郵便局
島しょ農協坂上店
八丈ストアミニミニ
松代給油所
村口商店
やすらぎの湯

末吉地域

浅沼商店
末吉出張所
末吉郵便局
みはらしの湯

関係機関・団体職員 (募金袋等よるご協力を いただきました)

八丈町
消防本部
むつみ保育園
むつみ第2保育園
若草保育園
あおぞら保育園
八丈支庁・教育庁八丈出張所
島しょ保健所八丈出張所
島しょ農林水産総合センター
八丈農林合同庁舎
三根小学校
大賀郷小学校
三原小学校
富士中学校
大賀郷中学校
三原中学校
八丈高等学校
三根婦人会
大賀郷婦人会
檜立婦人会
中之郷婦人会
末吉婦人会
八丈島民生児童委員協議会
養和会
社協職員

持続可能な社会を目指して



最近テレビなどで、「SDGs（エスディー・ジーズ）」と言う言葉をよく耳にするようになりました。

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。これは持続可能な社会の為に、世界中で取り組む17の目標をまとめたものです。この動きの根底には「地球上には様々な課題があり、その課題に対して世界が一致団結して取り組まないと、我々の生活自体が継続できなくなってしまう」という危機感があります。

また「持続可能な社会」とか「持続可能性」という言葉もよく聞くようになりました。今回は八丈島における福祉の持続可能性を考えてみたいと思います。

八丈島で安心して暮らしていく為に

ご自分の将来を想像してみてください。20年後にもしも八丈島に暮らしていたら、あなたは何歳になり、どのような生活をしているでしょうか？お子さんやご家族と一緒にいるか、それとも一人暮らしをしているでしょうか？

平成30年に国立社会保障・人口問題研究所が出した人口推計によれば、2045年には八丈島の人口は3,844人になると予想され

ています。65歳以上の高齢化率は約48%、20歳～64歳の比率は約39%です。皆さんは、この数字を見てどのように感じるでしょうか？

私達がこれからも安心して暮らして行く為に、国や行政、そして我々のような福祉職を担う者の努力は当然必要だと思います。しかし、恐らくそれだけでは間に合わない部分が出て来ると思っています。

高齢者が増え、それを支える若い世代が減少していく未来の八丈島で、持続可能な福祉を展開していくには、公助だけでなく、自助や共助の割合が益々高くなっていくと考えられます。そして、その為には私達一人一人の努力が必要になってきます。

社会は日々変わっています。コロナの影響で地方へ移住する方も増えており、八丈島にも移住して来る方が増えていきますので、推計よりも総人口や若い世代の比率も高いかもしれません。また、AIやロボット技術の進歩など現代には無い技術によって、将来の福祉が支えられる可能性もあります。

もしもそうだとしても、日々の健康管理によって健康寿命を伸ばす努力をしたり、日頃から地域の方との交流を深め、支え合い活動を行うなど取り組むことは持続可能な社会も大きく貢献すると思います。

持続可能な社会は一部の人間の努力だけでは成り立ちません。社協では、今後も地域の皆様のご協力をいただきながら、地域福祉の推進に努めていきたいと思えます。（菊池孔介）

2月のサロンイベント

2月のサロンは左記の日程で実施する予定です。コロナの影響で中止になる場合がありますので、ご了承ください。よろしくお願ひします。

【お問い合わせ】 2・2609 担当菊池

・坂下地域 2月18日(金)

午前10時～11時30分
三根公民館

・坂上地域 2月25日(金)

午前10時～11時30分
中之郷公民館

ご自宅サロンクイズ

サロンでは毎回クイズ等で楽しんでいます。サロンに行けない方も参加した気分で楽しんでください。

Q. 下の5つの数字の中で、仲間ハズレはどれでしょうか？

9

4

2

8

7

大ヒント：数字を漢字にしてみると、...？

《 1月号お年玉クイズ正解発表 》

今年のお年玉クイズは「ピクトグラム(案内用図記号)」に関するクイズでした。小さなお子様から年配の方まで18名の応募があり14名が正解でした。ご応募ありがとうございました。
島内にも様々なピクトグラムがあるので見つけてみてくださいね!

① 障害のある人が使える設備

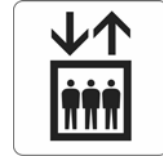


※1

② タクシーのりば



③ エレベーター



④ 男女共用お手洗い



※2

⑤ 薬局



⑥ キャンプ場



※1 「車いすの方専用」ではなく、障害のある方が使用できる設備や建物、場所です。

※2 男女共用お手洗いは、異性介助やトランスジェンダーをはじめとするLGBTの方も気兼ねなく使えるお手洗いです。(「お手洗い」は女性と男性の間に縦線がある図記号です)

スクール出前の報告 (大賀郷小学校 4 学年)

11月15日(月)「アイマスク体験」、11月29日(月)に「車いす体験」を行いました。

「アイマスク体験」は体育館と階段で行い、児童が2人1組となり、体験者はアイマスクを装着して目の見えない状態で、まず体育館内で障害物の無い直線的な歩行、続いて2か所に分かれ、『点字ブロック上の歩行』、『階段の昇り降り』を交互に体験し、それぞれ体験者と介助者の役割を交替して行いました。その後、視覚障がいのある平井保次さんを講師に招き、目の見えない方の生活状況等について話していただきました。

「車いす体験」は体育館と外のスロープで行い、車いすについて説明をし、障害物を設置したコース等で自走・介助方法について学習しました。

今回の体験を通して、足の不自由な方、目の不自由な方の体と気持ちを理解し、これからの学習や生活に役立ててもらえればと思います。

(佐々木 攻)



点字ブロック上の歩行を体験



平井保次さんの講演の様子



障害コースの介助を体験

☆3面クイズの答え☆

正解は「4」 漢数字にすると4だけ画数が違うから

